

令和8年度 国語科年間指導計画【第2学年】

月	単元・題材・教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	「見えないだけ」	語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	詩を読んで、考えたことなどを記録したり伝え合ったりしている。	進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	「アイスプラネット」 漢字1	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。	登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	文法への扉1 単語をどう分ける？ 文法1 自立語	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。		学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
5	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。	・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
	枕草子 【書く】自分流 「枕草子」を書く	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
	意見を聞き、整理して検討する	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。
	クマゼミ増加の原因を探る	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。	積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう2	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

6	短歌に親しむ [書く] 短歌の創作教室 短歌を味わう	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。	表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
	言葉の力	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。

月	単元・題材・教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7	言葉1 類義語・対義語・多義語 語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		
	メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。	複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。
	適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
8 ・ 9	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま コラム 「わからない」は人生の宝物	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
	ヒューマノイド	話や文章の構成や展開について理解を深めている。	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。
	字のない葉書	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。

	[推敲]表現の効果 を考える (弁論の発表)	言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。	読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	進んで文章を整え、今までの学習を生かして弁論を推敲しようとしている。
	言葉2 敬語 情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る	敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。 多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
1 0	同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。		積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	モアイは語る—— 地球の未来	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	文章の構成や論理の展開について考えている。文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
1 1	平家物語 「平家物語」の世界/ 「平家物語」の主な登場人物たち	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。	現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。

月	単元・題材・教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	扇の的——「平家物語」から	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
1 1	仁和寺にある法師—— 「徒然草」から 人物の特徴を捉えて論じよう	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
	漢詩の風景	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。	進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の 新しさ	情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考	進んで観点を明確にして文章を比較し、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。

1 2	書写 書き初めをしよう	これまでの学習を理解して書き初めを書いている。		
	思考のレッスン2 具体と抽象 話し合いの流れを整理しよう	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。話し合いの流れを整理するときに必要なことを進んで考え、今までの学習を生かして話し合おうとしている。
1	文法への扉2 走る。走らない。 走ろうよ。 文法2 用言の活用	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。		今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。
	走れメロス 【書く】作品の魅力をまとめ、語り合おう	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。
2	文法への扉3 一字違いで大違い 文法3 付属語	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。		今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
	漢字3 送り仮名	送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3	国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や	粘り強く国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてコピーにまとめてクラスで交流しようとしている。

教材や単元の特徴、進捗状況等によって変更となる場合があります。

※ 漢字については、知識・技能の観点から、「小学校までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。」「学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。」と評価規準を設定し、一年間を通して学習に取り組めるようにします。